

総合整備計画書

山形県 金山町 有屋辺地
(辺地人口 89人 面積 31.6 km²)

1 辺地の概要

- (1)辺地を構成する町又は字の名称 山形県最上郡金山町大字有屋字赤石沢、同字有屋沢、同字長野沢、同字野沢、同字藤内沢、同字入有屋、同字向田表、同字水上沢、同字一枚平、同字大清水、同字小清水、同字神室山、外
- (2)辺地の中心位置 山形県最上郡金山町大字有屋字長野沢 1247-5
- (3)辺地度数 186点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、本町の北東部に位置し、12の字と国有林からなる。そして、奥羽山脈の神室連峰から流れる金山川沿いにある最も雪の多い地域である。

上記のような地理的条件の下、住民の福祉向上を目指し、集落内道路や町中心部へのアクセス道路の計画的整備を図りつつ、地域特性を活かした様々な整備事業を進めてきた結果、地域の活性化や魅力ある山村地域を形成しつつある。

このような中、地域内の観光・レクリエーション施設であるグリーンバレー神室エリアにおいては、宿泊施設や温泉施設、スキー場、キャンプ場などを整備している。スキー場の運営に欠かせない圧雪車及び、スキー場用ベルトコンベアについて、購入からかなりの年数が経過し、経年劣化による不具合等もみられることから、適正な施設管理のためにも更新する必要がある。また、温泉施設であるホットハウスカムロは、築30年以上が経過し、木造であることから老朽化が進行し、専門家より危険性が高いと診断されていることから、建替又は大規模改修により整備する。併せて、グリーンバレー神室の中心施設である総合交流促進施設では、これまでも様々な修繕を行ってきたが、築27年以上が経過し、施設の全体的な修繕・更新が必要となっているため、施設屋根や設備の備品であるバスや除雪機を更新する。

3 公共的施設の整備計画

令和8年度から令和12年度まで 5年間

(単位：千円)

施設名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
	事業主体		特定財源	一般財源	
観光・レクリエーション施設	金山町	1,306,760	0	1,306,760	1,306,760
合計		1,306,760	0	1,306,760	1,306,760